

目標達成計画

作成日：平成 22 年 2 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	◎馴染みの人や場との関係継続の支援、ホームとして、入居したら今までの関係は継続できないと考える世間のイメージを無くしていきたいと努力を続けてきた。これからも情報を発信したり、社会的な活動に利用者が継続して参加できるよう支援に努めること	入居前の近隣、友人、行きなれた場所、入居前の居住地における、イベントなどその関係を可能な限り、絶たないように、本人・家族の意向もふまえて支援していく。又、施設としての閉鎖空間の一般イメージを取り払う啓発活動を行う。	入居前の居住地の祭典、参加しなれた市域のイベント情報を、新聞や市の広報誌でつかみ、出かけて行くこと。人間関係については、回想法か、誕生会に合わせてつなぎ、又、ホームのイベントの際の呼びかけ、親族、知人、友人の葬儀への参列などの支援を行っていく	長期継続
2	33	◎重度化や終末期に向けた方針の共有と支援、医療面のスキルアップや、看護師の配置が課題である	医療面のスキルアップの学習や研修などを継続的に重ねていくこと又、職員の意識の高揚と統一を図る。	緊急時の救命応急手当の学習、じょくそう、吸引などの処置の学習、リハビリなど、具体的、個別テーマによる学習を、随時、毎年重ねていくことで、職員が自信を持てるようにすると共に意識の高揚を図る。	長期継続
3	35	◎災害対策 関係者との合同訓練や夜間訓練などを継続的に 行うこと。避難方法を全職員が身につけること。	防災訓練の内容をその都度見直し、外部関係者との合同訓練や、様々な災害に対する避難訓練を行う。	・地震、火災、水害、噴火など想定訓練を順次行う。 ・地元消防団の協力を得て、避難訓練を行う	12ヶ月
4	40	◎食事を楽しむことのできる支援 ・きざみ食、ミキサー食について、食欲をそそる工夫をすること。	・きざみ食、ミキサー食について、お年寄りの食欲をより引き出す方法を学び実践する。	介護食士、栄養士を講師とした調理教室を開いて学ぶ	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。